



ふじい せいしち 議員  
藤井 精七

# 保護者負担の学校給食費無料化は？

## 子育て支援に対する事業等で検討

大変喜ばれている現道舗装

なお一層の推進を

### 給食費など助成・無料化は

**藤井** 全国的に給食費など義務教育段階で、保護者が自己負担をしなければならぬ費用を市町村が補助する動きが広がっている。県内でも金山町が完全無料、矢祭町、石川町など5割補助の施策を出してきています。町の考えを伺う。

**町長** 学校給食費等の助成については、学校給食法により、学校給食の運営経費のうち、施設整備費や人件費以外の食材費については、保護者が負担すべきことと定められていることから、1食あたりの給食単価で、小学校275円、中学校320円のご



給食風景

負担をいただいています。給食費の無料化については、一つの少子対策、子育て支援の有効な手段だと思えます。子育て支援に対する事業等、選択肢の中を含めながら検討を深めていくことについては、お約束させていただきま

す。

### ゴミ袋、無料化の取り組みについて

**藤井** 私は農家ですの

**町長** 燃えるごみ袋と燃えないごみ袋の販売価格の約7割が、ごみ処理施設であるクリーンセンターやリサイクルプラザなどの維持管理、運営経費に直結しているの

で、台所等の生ごみ等は自宅で処分しているが、町の方々は苦労していると思う。子供のいる家庭では、おむつの量も大変だ。無料化はどれほど喜ばれるかはわかりませんが、暮らしに目を向けた施策、取り組みを。

無料化は大変難しいものと考えています。また、白河地方広域市町村圏整備組合では、ごみ処理費用の削減、資源化の推進に平成28年度に「資源統一ごみ袋」の配布、「資源地域回収コンテナ無償貸付モデル事業」に取り組み、ごみの価格の設定等については、広域圏の議会の中で議論を深めていきます。

費に直結しているの、無料化した場合、その分を各市町村が負担金で負担しなければならない

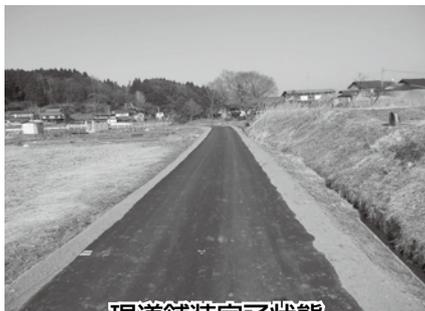
ことから、現状において

また、白河地方広域市町村圏整備組合では、ごみ処理費用の削減、資源化の推進に平成28年度に「資源統一ごみ袋」の配布、「資源地域回収コンテナ無償貸付モデル事業」に取り組み、ごみの価格の設定等については、広域圏の議会の中で議論を深めていきます。

件数が少ないとか、条件があると思いますが、常に矢吹の町民ということ

なお一層の推進を

う、限られた財源の範囲内での整備を計画的に進めたいと考えています。



現道舗装完了状態

### その他の質問事項

・日本型直接支払制度（多面的機能支払制度）の普及へ広報活動を

### 町政を問う（一般質問）